

## 「課題名：治療中の有害事象に関与する口腔管理の因子についての検討」について

### ○ 研究の意義・目的

全身疾患を有する患者さんの治療中に口腔管理を行うことは、創部感染や術後肺炎などの予防の観点から、その重要性が認識されるようになってきました。最近では入院直後より口腔管理を行う機会が増加していますが、患者さんの口腔環境や、疾患治療中に行ったどのような口腔管理の方法が治療経過に影響を及ぼすのかは未だ不明です。今回、全身疾患の治療中に行った口腔管理が肺炎や術後の創部感染などの有害事象に関してどのような影響を及ぼすのかを明らかにするため、この研究を計画しました。

### ○ 研究対象者

2012年4月1日から2027年3月31日までに、広島大学病院・心臓血管外科、消化器外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、血液内科、乳腺外科にて手術や放射線療法、化学療法のいずれかを受けられた患者さん、高度救命救急センター、緩和ケアセンターにて治療を受けられた患者さんを対象とします。

### ○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報・診療で用いたパノラマX線画像を転記して行います。

カルテから転記する内容は病名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、生活歴（飲酒・喫煙）、手術所見、血液検査値（白血球数（WBC）、好中球数（NE）、C-反応性蛋白（CRP）、ヘモグロビン（Hb）、グリコヘモグロビン（HbA1c）、腎機能クレアチニン（CRE）、アルブミン（A1b））、細菌検査所見、口腔内所見（菌式、歯周病ポケット検査、口腔内細菌数）、レントゲン検査、身長、体重、体温、血圧、脈拍です。（個人が特定出来る情報は転記しません）。

本研究は本学単独で行うため、他機関に情報を提供することはありません。

利用開始日は実施許可日（2016年8月5日）以降です。

### ○ 研究期間 実施許可日 ～ 2028年3月31日

### ○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

\* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

.....

#### お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5744

広島大学病院口腔総合診療科 助教 西 裕美 (研究責任者)